

引用と脱線が癒すとこ

神原知樹 東京医療保健大学講師

研究発表テーマ ロバート・バートンのロケレティウス受容

『メランコリーの解剖』第一部にみる感情解剖の詩学

人は落ち込んでいるとき、またまた思想は深く、断片的な言葉に救

英語の授業で 日本文学の英訳を読む

中川映里 東京大学非常勤講師

研究発表テーマ 翻訳で学ぶ英語と文学

大学英語教育における翻訳文学の可能性

「或はロケレティウス 運池の舟を、独り舟の 舟を歩きたるは、

先住民作家が描く 見えない文化

大橋永理 福岡大学大学院生

研究発表テーマ How are Indigenous Communities Positioned in Canadian Multiculturalism?

A Study of Tomson Highway's The Rez Sisters and Dry Lips Oughta Move To Kapuskasing

The Rez Sisters (1986) と Dry Lips Oughta Move to Kapuskasing (1988) は、一九七二年のカナダの多文化主義宣言の

★特別企画 対談「文学と言葉」

日時：5月17日(日)13時45分〜15時45分 場所：良心館地下1階地2教室

※当日会員について

非会員の方でも「当日会員」として同大会に参加できます。申し込みは、会場の受付(良心館1階)で行ってください。

ここでは引用は原語そのものなので、メランコリーにふさわしい思考の編成を「メサイク文体」として捉え、その治療的機能を論じた。その延長として、ロケレティウスから選り取られた断片が、バートンのテクニクの中でどのように再配置されているかを考察している。

the Lotus Pond. の呼びかけ表現を加えるなど別の手段が求められる。ロビン訳では、英語にすると失われてしまう日本語文表現の機能を英語という言語に即して表現し、呼びかけ表現の「children」を加え、語りと聞き手を「me」と「you」と言語化する。このように原文と翻訳を比較検討し、翻訳者の工夫を明らかにしようとするなかで、英語と日本語それぞれの言語的特徴や表現方法の違い、その対人関係が反映されること、英語と日本語の間に気づかされる機会を多く得てきた。こうした翻訳研究

(英宝社)では、このように引用による思考の編成を「メサイク文体」として捉え、その治療的機能を論じた。その延長として、ロケレティウスから選り取られた断片が、バートンのテクニクの中でどのように再配置されているかを考察している。

エコノミーから 19世紀アメリカ文学を読む 空間の拡大と社会の変容

働く女の物語

歓楽の家

モンキービーチ

カズオ・イシグロ 記憶、孤独、そして「関係性」の方へ

ギャツビー 100年 F・スコット・フィッツジェラルド「グレート・ギャツビー」を読む

J・G・バラード 混沌とした世界を映すフィクション

語りとヴィジュアルリティ シャーロット・ブロンテの一人称小説を読む

空腹のアイランド ジェイムズ・ジョイスの大飢饉表象を読み解く

AIのある外国語教育

評伝ジョウゼフ・コンラッド 女性・アメリカ・フランス

『英語青年』の翻訳言説 英文学研究は翻訳をどう見てきたか

フランケンシュタイン、日本到来 明治期日本初訳の謎

名譽ある平和 『クマのプーさん』の作家による平和への提言

ジェイン・オースティン あるいはスタイルの秘密

情動的唯物論 モダニズム/精神分析/脱構築

英文学、風俗画にみる 田舎のイングリッシュネス 一九世紀のカントリーハウスとコテージというホーム

太陽に挑む鷲 シェリー後期散文集

アメリカ文学と大統領 文学史と文化史

『人間失格』の「のです」を どう翻訳するか 日独語対照文学研究

ことばをどう捉えるか 言語の自明性を問直す

清末科学小説の想像力 伝統と近代の狭間にある文学

出版社ガイド

週刊読書人 『英米文学研究書あんない』特設サイト

「読書人WEB」では本特集面を無料公開しています。右記QRコードからアクセスしてください。



日本英文学会全国大会開催を機に

特集 英米文学 研究書のススメ